

9年生防災学習「危機管理課による防災マップ作り」

2学期、9年生の総合的な学習では、「地域の役に立つ人になる」というテーマで、1学期から継続している「地域貢献活動」に加え、「防災学習」を、実習を交えて行っています。

1回目は、学年主任による動機付けと、火を使わないで出来る「防災クッキングレシピ」を各自で調べたり考えたりして提案しました。

2回目からはゲスト講師をお迎えしての実習。9/8は市の危機管理課の職員さんと地域の防災関係の方、地区長さん交流センター長さんがいらしていただき、学区の防災マップを作成しました。



地震や火事、水害で危なそうな所、交通事故が起きそうな所、不審者が出そうな所など、多様な危険箇所をチームで出し合い、小さな付箋に書いて貼り、その対策についてもそれぞれ考えて、大きな付箋に書き出し貼っていきました。



中には、「イノシシやカモシカが出る」という情報も飛び出し、大人が「知らなかった！ 学びになった。」とおっしゃっていました。

学区は広いので、地区によっては「川が近い」、「崖が近い」など対策も変わってきます。最後に、「自分が住んでいる地域では何に気をつけたいか？」の振り返りをして終わりました。「避難所」と「避難場所」の違いが分からなかった生徒は、今回の講座で理解できたようです。ありがとうございました。

次回は、市の消防本部による「救護法」と「搬送法」の実習予定です。